

2026 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	青柳 寛
演習テーマ	「生きざま」の人類学
校外実習	1、実施しない ②、実施（実施時期：2027 年 2 月）
メールアドレス	aoyagihr@k.meijigakuin.ac.jp
オフィスアワー	原則アポイントメントにより昼休みを活用
2027 年度に 開講しない可能性 (研究サバティカル)	なし（2027 年度も開講いたします！）
授業概要	「ヒトにとって＜生きる＞とはどういうことなのか？」という哲学的な問いを念頭に、比較文化論の立場から「生きざま」についてゼミのみんなで吟味してまいります。異世界に生きる人々の生き様に触れ、生活の知恵に鑑みながら、自身の生き方について考え、自己開拓を図る場としても本ゼミを活用いただければと思います。
学習目標	知的なセルフエンパワーメント、自己開拓
授業計画	※以下はあくまで「仮計画」で、実際には集ったみなさんと申し合わせながらゼミを進めてまいります。各章とも基調懇談と課題演習からなります。 ゼミ 2A（前半・春学期） 第 1 章：「ヒト」として「生きる」とはということか？ 第 2 章：「生きざま」の事例比較 第 3 章：「近代」という縛りについて考えてみる 第 4 章：「成長」から「脱成長」へ 第 5 章：先住民族の生きざまに学んでみよう ゼミ 2B（後半・秋学期） 第 6 章：「生きざま」の探究方法について 第 7 章：校外実習に向けた打ち合わせ 第 8 章：「生きざま」のリサーチデザイン 第 9 章：実習の行程計画 第 10 章：総括
予習	進行状況に応じて次題目を先見し、関連情報を検索しておく。
復習	得られた学びをとりまとめつつ、自身の「生き方」ノートを編纂する。
授業に関する 注意事項	思考力とコミュニケーション能力がものいうゼミです。積極的な参画を心がけていただきます。
教科書	1) 田辺繁治『生き方の人類学：実践とは何か』 2) 南研子『アマゾン、インディオからの伝言』
参考書	随時選定
成績評価の基準	参画（50%）、マイ生き方ノート（50%）
関連 URL	https://fis.meijigakuin.ac.jp/about/staff/aoyagihiroshi/
認定留学中の 遠隔指導	☎：留学等の渡航はフィールドワークと見做して出向いていただきます。
備考	目的意識を持っておいでください！